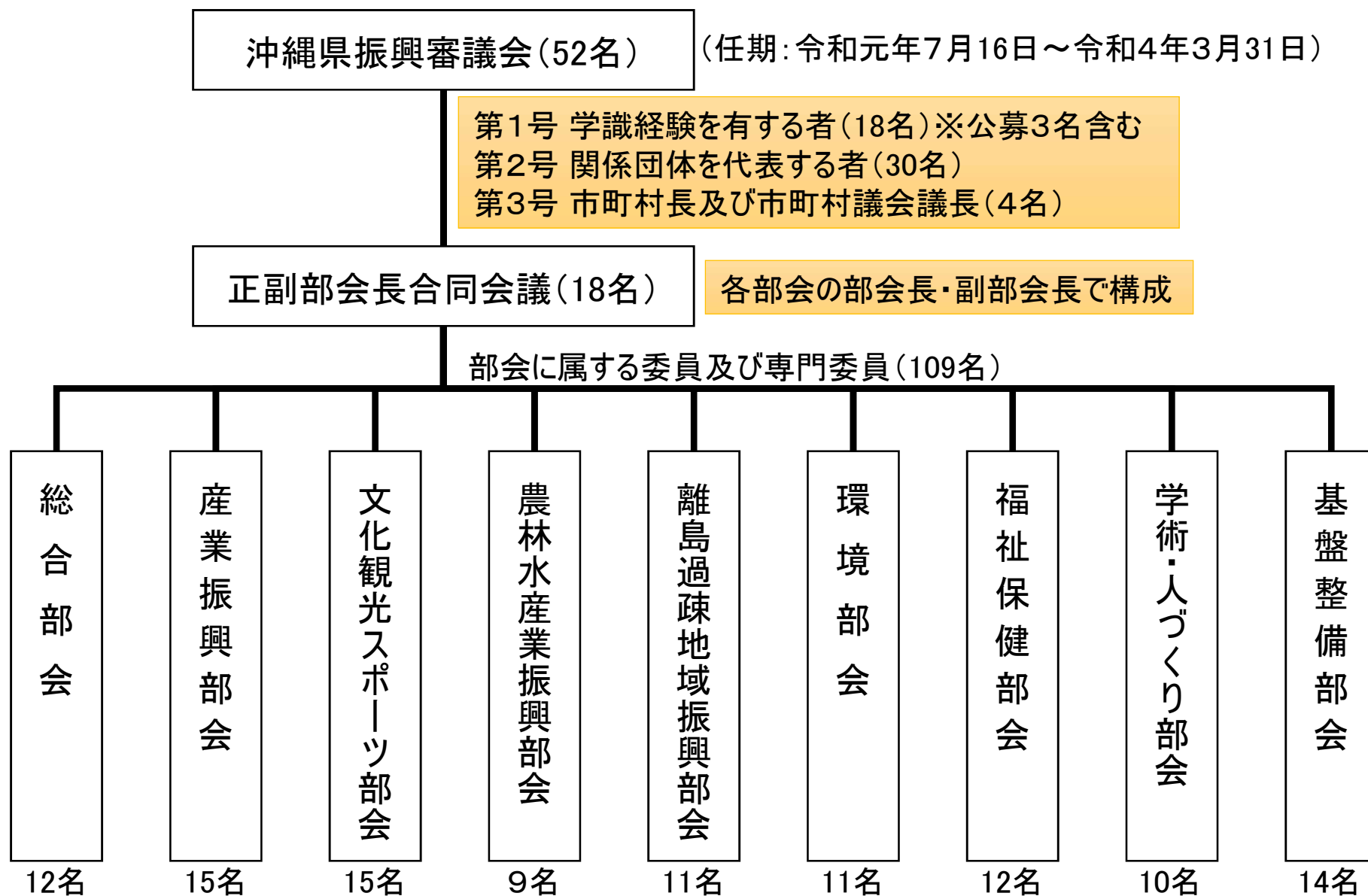


沖縄県振興審議会^の調査審議概要

令和3年12月

1 沖縄県振興審議会の構成



2 部会の所掌事務

部 会 名	所 掌 事 務
総合部会	基本方針、経済社会、財政、土地利用、米軍基地問題、跡地利用、県民生活等に関すること
産業振興部会	情報通信関連産業、商工業、科学技術、産業人材育成（他部会の所掌に属するものを除く。）、雇用、エネルギー等に関すること
文化観光スポーツ部会	観光・リゾート産業、文化、スポーツ、交流等に関すること
農林水産業振興部会	農林水産業等に関すること
離島過疎地域振興部会	離島過疎地域の振興、定住条件の整備等に関すること
環境部会	公害防止、廃棄物対策、環境保全、自然景観の保全等に関すること
福祉保健部会	社会福祉、保健衛生、医療、安全・安心等に関すること
学術・人づくり部会	教育・人材育成、歴史、学術等に関すること
基盤整備部会	県土構造、都市整備、交通体系（基盤・ネットワーク・コスト）、情報通信体系（基盤・ネットワーク・コスト）、水資源、災害、景観形成・風景づくり等に関すること

3 沖縄県振興審議会の開催状況

<諮問>

会議名称	開催日	会議内容
第70回沖縄県振興審議会	R3.6.9	1 新たな振興計画(素案)の諮問 2 今後の調査審議の進め方について 3 自由討議
第1回正副部会長合同会議	R3.6.9	1 沖縄県振興審議会部会における調査審議方針(案)について 2 自由討議

<中間取りまとめ>

会議名称	開催日	会議内容
第2回正副部会長合同会議	R3.10.22	1 各部会審議結果(中間取りまとめ)について 2 新たな振興計画(素案)に対する審議経過について 3 計画展望値の進捗報告について 4 自由討議
第71回沖縄県振興審議会	R3.10.29	1 審議会の審議状況について 2 新たな振興計画(素案)に対する審議経過について 3 自由討議

<答申(案)取りまとめ>

会議名称	開催日	会議内容
第3回正副部会長合同会議	R3.12.17	1 計画展望値について 2 部会調査審議結果について 3 新たな振興計画(素案)に対する答申(案)について
第72回沖縄県振興審議会	R3.12.27	1 審議会の調査審議概要 2 新たな振興計画(素案)に対する答申(案) 3 計画の展望値 4 審議・意見等

4 審議会等での主な意見

第71回沖縄県振興審議会(令和3年10月29日開催)

1	新たな振興計画においては、横断的に議論すべき内容が多々あるため、規定を設けた上で、関係する各部会の正副部会長が集まって横断的に議論する場や機会をつくってはどうか。
2	世界から選ばれる観光地形成を目指すのであれば、那覇空港を世界水準にとどまらず、「世界最高水準」の国際リゾートビジネス空港を目指すべきではないか。
3	新たな振興計画の実効性や推進力は、沖縄振興予算であり、また高率補助、振興税制、沖縄公庫などの制度である。県は、これらの推進力の確保に向けて全力で取り組んでいただきたい。
4	国際家事相談について、新たな振興計画(中間取りまとめ)段階では書きぶりが足りていないと感じる。国際家事における相談機能の充実など、追記してほしい。
5	子どもの貧困問題は、親の就労状況や産業構造、教育力など様々な要素が絡み合い複雑化していることから、子どもの貧困対策として、各分野において長期的かつ実効性の高い取組を検討していただきたい。

第3回正副部会長合同会議(令和3年12月17日開催)

1	計画展望値の検証の中で、令和5年度に生産性が回復すると仮定しているが、本県の観光産業は、普通の生産を伴うものと異なり、もう少し時間がかからないかという懸念がある。
2	今後の課題として、観光収入を算定する精度の向上を考慮していく必要がある。現状ではアンケートに基づく単価を採用しており、どこまで正確な数値となるのか懸念がある。
3	将来像5の医師の確保と資質向上に関する成果指標について、離島医療の質をどう評価していくかも含めて、県全体を対象とした医師数の指標だけではなく、離島医療に従事する医師数を加える必要があるのではないか。

5 沖縄県振興審議会 部会審議の経過 ①

総合部会	
開催日	調査審議内容
第1回 R3.7.20	第1章 総説 第2章 基本的考え方 第3章 基本方向(展望値除く) 第4章 基本施策 2-(5) 多様性を尊重する共助・共創社会の実現
第2回 R3.8.10	第4章 基本施策 2-(8) あらゆるリスクに対応する安全・安心な島づくり 4-(1) アジア・太平洋地域の平和構築に貢献する地域協力外交の展開 4-(3) 世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1-(3) 広大な海域の保全・活用
第3回 R3.8.24	第4章 基本施策 2-(9) 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決 第5章 克服すべき沖縄の固有課題 1-(1) 基地問題の解決 1-(2) 駐留軍用地跡地の有効利用による県土構造の再編 2-(2) 跡地利用推進法の活用による円滑な跡地利用の推進 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1 県土全体の基本方向 2 県土の広域的な方向性 3 圏域別展開
第4回 R3.9.7	第3章 基本方向 4 計画の展望値 第5章 克服すべき沖縄の固有課題 2 固有課題克服のための行財政システムの強化・拡充及び政策金融の活用 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1 県土全体の基本方向 2 県土の広域的な方向性 3 圏域別展開 第7章 計画の効果的な推進 審議結果中間取りまとめ
第5回 R3.10.15	審議結果中間取りまとめ 第3章 基本方向 4 計画の展望値
第6回 R3.11.19	第3章 基本方向 4 計画の展望値 新たな振興計画(中間取りまとめ)に対する意見への対応について

産業振興部会	
開催日	調査審議内容
第1回 R3.7.15	第4章 基本施策 3-(1) 県民所得の着実な向上につながる企業の「稼ぐ力」の強化 3-(3) リゾテック沖縄の推進による情報通信関連産業の高度化・高付加価値化 3-(6) 沖縄の優位性や潜在力を生かした新たな産業の創出 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開
第2回 R3.8.3	第4章 基本施策 3-(4) アジアのダイナミズムを取り込む国際物流拠点の形成と臨空・臨港型産業の集積 3-(5) 科学技術イノベーションの創出と次世代を担う持続可能な産業の振興 3-(8) 地域を支える第二次産業と県産品の振興 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開
第3回 R3.8.19	第4章 基本施策 1-(1) 世界に誇れる島しょ型環境モデル地域の形成 1-(3) 持続可能な海洋共生社会の構築 3-(11) 誰もが安心して働ける環境づくりと多様な人材の活躍促進 5-(4) 人口減少に対応し、地域社会を支える人づくりと人材の確保 5-(5) 新たな価値を創造し、産業を牽引する人づくりと人材の確保 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開
第4回 R3.9.3	審議結果中間取りまとめ
第5回 R3.11.12	第71回沖縄県振興審議会の報告 新たな振興計画(中間取りまとめ)に対する意見への対応について 主要指標・成果指標/展望値指標等について

5 沖縄県振興審議会 部会審議の経過 ②

文化観光スポーツ部会

開催日	調査審議内容
第1回 R3.7.19	第4章 基本施策 1-(4) 沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展 1-(5) 悠久の歴史や伝統文化に育まれた魅力ある空間と風土の形成 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開
第2回 R3.8.6	第4章 基本施策 3-(9) 希望と活力にあふれる「スポーツアイランド沖縄」の形成 4-(2) 沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成 5-(3) 多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開
第3回 R3.8.23	第4章 基本施策 3-(1) 県民所得の着実な向上につながる企業の「稼ぐ力」の強化 3-(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革 3-(6) 沖縄の優位性や潜在力を生かした新たな産業の創出 3-(10) 島々の資源・魅力を生かし、潜在力を引き出す産業振興 3-(12) 自立型経済の構築に向けた社会基盤の高度化とネットワークの形成 4-(4) 離島を核とする交流の活性化と関係人口の創出 5-(5) 新たな価値を創造し、産業を牽引する人づくりと人材の確保 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開
第4回 R3.9.2	第4章 基本施策 3-(1) 県民所得の着実な向上につながる企業の「稼ぐ力」の強化 3-(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革 3-(6) 沖縄の優位性や潜在力を生かした新たな産業の創出 3-(10) 島々の資源・魅力を生かし、潜在力を引き出す産業振興 3-(12) 自立型経済の構築に向けた社会基盤の高度化とネットワークの形成 4-(4) 離島を核とする交流の活性化と関係人口の創出 5-(5) 新たな価値を創造し、産業を牽引する人づくりと人材の確保 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開 審議結果中間取りまとめ
第5回 R3.11.16	新たな振興計画(中間取りまとめ)について 主要指標及び成果指標について
第6回 R3.11.24	新たな振興計画(中間取りまとめ)審議結果振り返り 主要指標及び成果指標について

農林水産業振興部会

開催日	調査審議内容
第1回 R3.7.15	1 総点検報告書等での課題 2 新たな振興計画(素案)の構成と農林水産業振興施策の骨子 3 関連体系図の概要
第2回 R3.7.29	第4章 基本施策 3-(7)-ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化 3-(7)-イ 県産農林水産物の安全と消費者信頼の確保 3-(7)-ウ 多様なニーズに対応するフードバリューチェーンの強化 3-(1)-ウ③ 食品関連産業と農林水産業の連携
第3回 R3.8.17	第4章 基本施策 5-(5)-イ② 農林水産業を支える多様な担い手の育成・確保 3-(7)-エ 担い手の経営力強化 4-(3)-ア③ 農林水産分野における国際協力の推進 3-(7)-オ 農林水産業のイノベーション創出及び技術開発の推進 1-(3)-ア④ 赤土等流出防止に向けた総合対策 3-(7)-カ 成長産業化の土台となる農林水産業の基盤整備
第4回 R3.9.9	第4章 基本施策 3-(7)-キ 魅力と活力ある農山漁村地域の振興 3-(10)-ア 離島ごとの環境・特性を生かした農林水産業の振興 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1-(3) 広大な海域の保全・活用 3 圏域別展開 審議結果中間取りまとめ
第5回 R3.11.12	新たな振興計画(中間取りまとめ)及び審議結果報告書(案)について これまでの審議結果に係る意見交換

5 沖縄県振興審議会 部会審議の経過 ③

離島過疎地域振興部会

開催日	調査審議内容
第1回 R3.7.30	第1章 総説 第2章 基本的課題 第3章 基本方向 関連体系図(案)
第2回 R3.8.17	第4章 基本施策 2-(7) 離島における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出 4-(4) 離島を核とする交流の活性化と関係人口の創出 第5章 克服すべき沖縄の固有課題 1-(4) 離島の条件不利性克服と持続可能な島しょ地域の形成 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1-(5) 我が国の南の玄関口における臨空・臨港都市と新たな拠点の形成 2-(3) 世界とつながる北部圏域、宮古・八重山圏域の持続可能な発展 2-(4) 小・中規模離島や過疎地域等における持続可能な地域づくり 3 圏域別展開 関連体系図(案)
第3回 R3.9.1	第4章 基本施策 3-(10) 島々の資源・魅力を生かし、潜在力を引き出す産業振興 5-(4) 人口減少に対応し、地域社会を支える人づくりと人材の確保 第5章 克服すべき沖縄の固有課題 1-(4) 離島の条件不利性克服と持続可能な島しょ地域の形成 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1-(5) 我が国の南の玄関口における臨空・臨港都市と新たな拠点の形成 2-(3) 世界とつながる北部圏域、宮古・八重山圏域の持続可能な発展 2-(4) 小・中規模離島や過疎地域等における持続可能な地域づくり 3 圏域別展開 関連体系図(案)
第4回 R3.9.13	第4章 基本施策 離島過疎地域に関わる箇所全般 第5章 克服すべき沖縄の固有課題 1-(4) 離島の条件不利性克服と持続可能な島しょ地域の形成 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1-(5) 我が国の南の玄関口における臨空・臨港都市と新たな拠点の形成 2-(3) 世界とつながる北部圏域、宮古・八重山圏域の持続可能な発展 2-(4) 小・中規模離島や過疎地域等における持続可能な地域づくり 3 圏域別展開 関連体系図(案) 審議結果中間取りまとめ
第5回 R3.11.12	第71回沖縄県振興審議会の報告 計画(素案)及び関連体系図(案)等に対する追加意見について 部会審議結果について

環境部会

開催日	調査審議内容
第1回・第2回 R3.8.13	第4章 基本施策 1-(1) 世界に誇れる島しょ型環境モデル地域の形成 1-(2) 自然環境の保全・再生・継承及び持続可能な利用 3-(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革 ※7.21の第1回が台風で開催できなかったため、第1回・第2回として開催
第3回 R3.8.26	第4章 基本施策 1-(3) 持続可能な海洋共生社会の構築 2-(7) 離島における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出
第4回 R3.9.7	第4章 基本施策 2-(9) 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開 審議結果中間取りまとめ
第5回 R3.11.17	中間報告の検討中事項について 新たな振興計画(中間取りまとめ)に対する意見について 計画展望値(温室効果ガス削減量)について

福祉保健部会

開催日	調査審議内容
第1回 R3.7.14	第4章 基本施策 福祉保健分野の総括説明
第2回 R3.8.6	第4章 基本施策 2-(1) 子どもの貧困の解消に向けた総合的な支援の推進 2-(2) 誰もが安心して子育てができる環境づくり 2-(4) 高齢者・障害者等を支える福祉サービスとセーフティネットの充実 5-(4) 人口減少に対応し、地域社会を支える人づくりと人材の確保
第3回 R3.9.9	第4章 基本施策 2-(3) 健やかな暮らしと安心を支える充実した医療提供体制の確保 2-(7) 離島における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出 3-(9) 希望と活力にあふれる「スポーツアイランド沖縄」の形成 4-(3) 世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献 5-(4) 人口減少に対応し、地域社会を支える人づくりと人材の確保 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開 審議結果中間取りまとめ
第4回 R3.11.16	新たな振興計画(中間取りまとめ)について 自由討議

5 沖縄県振興審議会 部会審議の経過 ④

学術・人づくり部会

開催日	調査審議内容
第1回 R3.7.29	第4章 基本施策 5-(1) 多様な学びの享受に向けた環境づくり 5-(2) 「生きる力」を育む学校教育の充実 5-(3) 多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり など
第2回 R3.8.12	第4章 基本施策 5-(3) 多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり 5-(4) 人口減少に対応し、地域社会を支える人づくりと人材の確保 5-(5) 新たな価値を創造し、産業を牽引する人づくりと人材の確保 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開
第3回 R3.8.26	第4章 基本施策 5-(1) 多様な学びの享受に向けた環境づくり 1-(4) 沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展 など 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 3 圏域別展開
第4回 R3.9.6	審議結果中間取りまとめ
第5回 R3.11.18	外部意見及びその対応について 新たな振興計画(中間取りまとめ)について

7月から11月までの間に、
9部会で合計46回の部会を開催

基盤整備部会

開催日	調査審議内容
第1回 R3.7.29	第4章 基本施策 1-(1) 世界に誇れる島しょ型環境モデル地域の形成 1-(2) 自然環境の保全・再生・継承及び持続可能な利用 1-(5) 悠久の歴史や伝統文化に育まれた魅力ある空間と風土の形成 2-(4) 高齢者・障害者等を支える福祉サービスとセーフティネットの充実 2-(6) 安全・安心・快適に暮らせる生活基盤の充実・強化 2-(7) 離島における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出 2-(8) あらゆるリスクに対応する安全・安心な島づくり 2-(9) 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決 第5章 克服すべき沖縄の固有課題 1-(3) 離島の条件不利性克服と持続可能な島しょ地域の形成 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1 県土全体の基本方向 2 県土の広域的な方向性 3 圏域別展開
第2回 R3.8.27	第4章 基本施策 3-(1) 県民所得の着実な向上につながる企業の「稼ぐ力」の強化 3-(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革 3-(4) アジアのダイナミズムを取り込む国際物流拠点の形成と臨空・臨港型産業の集積 3-(6) 沖縄の優位性や潜在力を生かした新たな産業の創出 3-(8) 地域を支える第二次産業と県産品の振興 3-(12) 自立型経済の構築に向けた社会基盤の高度化とネットワークの形成 4-(3) 世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献 4-(4) 離島を核とする交流の活性化と関係人口の創出 5-(5) 新たな価値を創造し、産業を牽引する人づくりと人材の確保 第5章 克服すべき沖縄の固有課題 1-(4) 美ら島交通ネットワークの構築 第6章 県土のグランドデザインと圏域別展開 1 県土全体の基本方向 2 県土の広域的な方向性 3 圏域別展開 関連体系図(案)(成果指標)について
第3回 R3.9.9	関連体系図(案)(成果指標)について これまでの意見に対する県の対応方針(案)について 審議結果中間取りまとめ
第4回 R3.11.5	沖縄県振興審議会の審議状況等について 新たな振興計画(中間取りまとめ)等に関する意見について
第5回 R3.11.19	これまでの意見に対する県の対応方針(案)について 調査審議結果報告書(案)について

6 沖縄県振興審議会 各部会審議の主な意見 ①

総合部会

1	「沖縄経済の重要課題」の部分について、元々ある地場産業の低迷や衰退に対してどう取り組むのかがあまり書かれていないため、生産性の高い産業のみならず地場産業においても、先端技術の活用などの新しい動きの中にしっかりと取り込んでいくことを記載してはどうか。
2	離島における性犯罪被害者支援がまだ十分ではないため、離島における被害者への支援充実を追記してはどうか。
3	米軍人・軍属等による事件・事故の防止策のみではなく、事件・事故があった際の被害者や遺族に対する十分な補償についても記載すべきではないか。
4	跡地利用についても基地問題から派生している問題であることから戦後処理の1つと捉え、第4章の基本施策に盛り込んでどうか。
5	沖縄振興開発金融公庫の存在は非常に重要なため、新型コロナウイルス感染症対策に係る融資等の金融支援の役割について追加し、強調した記載にしてはどうか。
6	計画の展望値に関する記載については、計画の前半に位置づけるのではなく、基本施策を講じることでの見通しとして理解しやすいよう、計画の後半に位置づけてはどうか。

産業振興部会

1	情報技術関連について、各分野の情報技術という取扱だけでなく、沖縄の産業のDXを目指す広い視座、振興計画を幅広く俯瞰し、「ResorTech Okinawa構想」をまとめて沖縄のデジタル化戦略の要素を素案へ落とし込むことができないか。
2	クリーンエネルギーの導入拡大は、民間事業者だけでなく県民総ぐるみで取り組み、地産地消化を推進する視点が重要である。また、併せて電力系統安定化の技術開発が必要不可欠である。
3	女性活躍の推進も含めて稼ぐ力の強化の視点として挙げているにも関わらず、内容に含まれていない。「稼ぐ力」での女性活躍とは、より女性の視点での企画・マーケティング・販促といった要素において積極的に女性を登用することだと感じる。そうした観点で「稼ぐ力」の発揮に向けて、積極的な女性の登用といった趣旨での表現にしてはどうか。
4	本県では、いい技術があってもそれを知的財産にして実施許諾、ライセンスを取得するところが弱い。これを実現するためには技術移転機関機能をもっと充実させる必要がある。
5	データサイエンティストは企業にとって必要不可欠なため、例えば琉球大学で誰でも参加できるオンライン教育プログラムをつくり、データサイエンティストの育成を行ってはどうか。
6	カーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギーの導入については、本県の構造的不利性により難しい面もあるが、沖縄の将来のためにも積極的な導入拡大は非常に重要である。

6 沖縄県振興審議会 各部会審議の主な意見 ②

文化観光スポーツ部会

1	伝統芸能について、県民が独自の文化に誇りを持ち、継承していくためには、それら文化・芸術に県民が触れる機会を増やすだけでなく、県外や海外からの評価を得るような視点・施策が必要ではないか。
2	観光産業は、沖縄経済を牽引するリーディング産業であり、観光庁のガイドラインを活用することと定めるのではなく、本県独自の「ガイドライン」を策定する必要がある。
3	MICEについては、経済効果だけでなく、教育的効果や地域活性化に繋がるなど幅広い効果を明記していただきたい。
4	空手ツーリズムについて、実際に空手を実践している「空手家」のみをターゲットにするのではなく、空手を今まで体験したことのない人にも体験してもらうなど、初心者裾野を広げるための空手体験ツーリズムのあり方も必要である。
5	スポーツアイランド沖縄について、スポーツを通じ「世界へ貢献」という視点も含めた活用が必要である。
6	多文化共生社会の構築においては、「イチャリパチョーデーの心」に加え、「ユイマール精神」というものが非常に役立っており、プラスの影響があるので、文言を追加してはどうか。

農林水産業振興部会

1	沖縄県の高湿多湿な気候は生鮮農産物の流通面で問題があるため、卸売市場のクールチェーン化が必要である。
2	本県は台風常襲地帯という特殊事情があるため、台風等の気象災害に強い園芸施設等の整備及び補強・改修の支援を記載すべきではないか。
3	国において「みどりの食料システム戦略」が策定されるなど、脱炭素化等の実現に向けた農林水産分野の貢献が期待されていることから、化学農薬等の使用低減に取り組むエコファーマーや有機農業に取り組む農家への支援など、同戦略を踏まえた方向性を示す必要があるのではないか。
4	農業の担い手について、株式会社や法人の参入をもっと幅広く記載していいのではないか。実際、会社経営の一環として農業の分野に参入してくる企業は今後増える見込みであり、貴重な担い手としてもっと捉えるべきではないか。
5	沖縄島北部地域の世界自然遺産登録により、北部地域の森林は、生態系を保全していく上で重要な役割をより一層有することになった。北部地域で持続可能な森林施業を行うためには、機能に応じたゾーニングというものをもっと県民に説明していく必要があり、その重要性をしっかりと素案に記載してもらいたい。
6	令和元年に発生した豚熱は、生産農家をはじめ地域経済に大きな影響を与えたことから、県民の危機意識を高めるためにも強調した表記にしてはどうか。

6 沖縄県振興審議会 各部会審議の主な意見 ③

離島過疎地域振興部会

1	第5章の克服すべき沖縄の固有課題の離島部分の記述に「課題解決先進地」としての意義を追記してはどうか。
2	離島を核とする関係人口の創出は、離島過疎地域の持続可能な地域づくりということを前提に取組を打ち出すべきではないか。
3	離島の定住条件整備、条件不利性の克服については、交通を含め、新技術の導入と活用を明確に位置づけていただきたい。
4	デジタル技術等を活用したスマート農林水産業について、生産基盤の整備だけではなく、流通販売体制まで含めるべきではないか。
5	「地下水」についての沖縄県の方針をもっと踏み込んで明確にすべきではないか。
6	小規模離島の切実なニーズ、課題を埋没させてはいけない。きめ細かな島単位のニーズを把握して、的確に具体的に対応していくことが重要である。

環境部会

1	2050年に向けて「脱炭素」という言葉が強く使われるようになっており、まずは低炭素というところも分かるが、やはり「脱炭素」を目指していくものであり、表現は「脱炭素」にすべきではないか。
2	藻場やサンゴ礁生態系の保全と再生に関して、県民や観光客への普及啓発に取り組むべきではないか。
3	世界自然遺産登録地における保全管理は専門的知識を必要とする分野であり、OISTや琉球大学等との共同管理も必要なのではないか。
4	廃棄物処理については、環境配慮を踏まえた処理に関する取組の優先順位を明確にすべきではないか。
5	環境・エネルギー分野における国際協力の推進の中で、循環型社会を構築するという要素を追記してはどうか。
6	多くの海岸に漂流・漂着している「軽石」への対策について、計画に盛り込む必要があるのではないか。

6 沖縄県振興審議会 各部会審議の主な意見 ④

福祉保健部会

1	沖縄県は、健康診断の有所見率が9年連続してワースト1となっており、現役世代の死亡率も高く、沖縄における生産性の低さの要因の一つともなっている。このため、職場における健康づくりの取組として、健康経営の促進を項目として追加してはどうか。
2	介護サービスの分野について、離島に特化した表現となっているが、県内全域で広域的に介護サービスの提供に取り組む必要があることから、離島地域に限定せず「県内全域」という内容に修正してはどうか。
3	医療提供体制を確立するため、離島・へき地の診療所で勤務する看護師の確保・定着に向けた「代替要員」の確保について追記してはどうか。
4	新興・再興感染症の施策において、現在課題となっている在宅での療養者の観察に関する内容を追記してはどうか。
5	令和3年5月に災害対策基本法の改正があり、福祉避難所や災害時要援護者の支援、避難計画に関する表現もその法律に合わせる必要がある。
6	保健衛生分野における国際協力の推進や島しょ地域の防疫体制の強化については、計画に記載のある調査・研究開発での国際協力が留まらず、海外研修生の受入れによる技術協力も大きく貢献しているため、海外研修生の受入れについて記載してはどうか。

学術・人づくり部会

1	確かな学力を身につける学校教育の充実について、小学校、中学校、高等学校、ほぼ似たような書き方になっている。学力に関して抱えている問題が異なるため、それぞれで抱えている課題が大きく違うという視点で書いたほうがいいのではないか。
2	学力やキャリア教育は沖縄の重点的な課題だと思う。沖縄の課題や課題の分析に合わせた指標にしなければどんなに施策を書いても、その指標を目指すことになるので、指標を改めて設定するなど検討してほしい。
3	全体的に見ると小中と高校と高等教育というところが少し分断されているような形で見えてしまう。今後この接続というところは非常に重要になってくると思うので、接続の視点でもう少し入れ込む必要があるのではないか。
4	県外に進学させることで進学率を上げたいというのが今回の素案に記載されているが、県内の学生が県内で学びたいというのは沖縄の高校生の志向はとて強いので、そういったところを支援するのは非常に重要ではないかと思う。
5	地域連携プラットフォームを考えようという提案は非常に評価したい。離島のサテライトなどについても一緒になってやれば充実することができると思う。また、どうすればリカレント教育を進めることができるかという面でも、このプラットフォームが役に立つと思う。
6	ICT教育の推進については、様々な分野で教育の向上に資する取組と理解しているが、家庭内での情報通信環境の整備や保護者のサポート体制も含め、情報格差が教育格差につながらないか懸念がある。

6 沖縄県振興審議会 各部会審議の主な意見 ⑤

基盤整備部会

1	脱炭素化に配慮した空港・港湾の高度化という表現があるが、具体的な内容を記載する必要がある。
2	本土復帰後、集中的に整備された社会基盤の経年劣化や塩害による急速な劣化の進行など、適切な維持管理や補修の実施が重要となっている。そのため維持管理を担う技術者の育成確保を促進する必要がある。
3	AIやディープラーニングについては、デジタル化されたデータが必要であり、計画に、何をモニタリングするか、何を計測するかということ表現する必要がある。
4	新たな技術開発については、産学官連携のもとで取り組むこととなっており、それぞれの役割や具体的な進め方を記載してほしい。
5	近年の自然災害の激甚化などを踏まえると、特に離島等における社会インフラの強靱化が求められる。通信においては、特に離島の重要拠点である役場や空港、港、診療所等で不具合が発生した場合の生活基盤に与える影響が非常に大きいことや、離島で復旧に相当時間を要することを踏まえた表現などへ変更してはどうか。
6	国土強靱化基本法の理念は、何か起こったときの対応力を高めるのではなく、被害が起きにくい社会システムや被害を受けにくい土地利用にすることであることから、法の理念にあわせた内容を盛り込んでいく必要があるのではないか。